

テッククリート TBR

コンクリート用溶解型弾性補修材

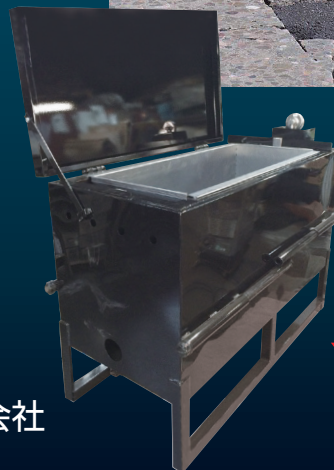
目地材不要・・・柔軟性のある補修材
LCCコスト縮減・・・深さ4cmで施工可能
施工短縮・・・養生時間が約1時間

テッククリートは一般道路・高速道路・空港におけるコンクリート舗装に最も高度なフレキシブル補修材料として使用いただけます。
柔軟性、接着性、および耐圧縮性を持続的に提供します。

■ テッククリート性能一覧表

試験	テッククリートTBR	規格
色	灰色	
形状	粉末	
比重	2.03	ASTM D2726
バインダー内容%	15-25%	ASTM D6307
骨材通過率15.8mm (ASTM D5444) %	100%以上	ASTM D5444
No.16残留率 %	55%以上	
No.4ふるい通過率 %	-	
流動性 5時間 @60℃	5 mm以下	ASTM D5329
接着引張性	12psi(83kPa)以上圧力をかける 12mm以上伸びる	ASTM D5329
耐衝撃性 (直径50mm/厚み25mm試験体、 φ16 半球型衝撃ダーツ)	-7℃時、高さ1.8mより0.45kgの半型 (16φ)を垂直に(8.1N・m)落下時、 ひび割れ・欠け・分離なしとする。	ASTM D2794
折り曲げ性	ひび割れ、骨材接着力の剥離見られないものとする。	ASTM D3111
最小施工温度	190℃	
最大加熱温度	204℃	
保管寿命	2年	

施工後10年経過写真



ミニメルター30
テッククリートに対応した溶解釜

ミニメルター 30 レンタル
及び施行サポート致します。



エムケービルド株式会社

www.mk-build.jp

■ 適応条件

項 目	適 応 基 準
用途	コンクリート舗装目地部の角欠け／コンクリート目地部
施工幅	12cm以上(目地部の場合4cm以上)
施工長さ	12cm以上
施工厚	3.8cm以上20cm未満 厚みが6.3cm以上の場合は何層かに重ねて使用してください。 その場合、最上層の厚みは2.5cm以下にしてください。



1 施工前

目地部角欠けひび割れ部分を目視と打音検査により補修範囲を決める。(浮いている部分は残さない)



2 カッター工

ドライカッターで切断



3 はつり



4 清掃

コンクリートガラを取り、ブロワーでしっかり細粒を飛ばします。補修面が濡れている場合はしっかりと乾燥させてください。



5 プライマー塗布

しっかりと施工基面を清掃・乾燥させた後、プライマーを塗布する。(塗布量 $0.36\frac{\text{kg}}{\text{m}^2}$ (0.33kg)/㎡)



6 材料投入

端部をマスキングテープを貼り、材料が熱温度190℃～204℃の間(材料がしゃばしゃばの状態)になれば材料を充填します。充填後コテで均す。



7 成形

補修箇所隙間ができないようにコテを熱して、成形します。また泡が出てきた場合、潰して消します。端部はバーナーで炙り、骨材が浮いてきた状態にする。



8 完了

表面温度が93℃～121℃になれば、デタック粉を散布する。路面温度が40℃以下になれば交通開放ができます。(なかなか温度が下がらない場合、散水を行ってください。)



エムケービルド株式会社

関東支店・関東工場 〒344-0051 埼玉県春日部市内牧2460-14

TEL. 048-708-0717 FAX. 048-611-9493